



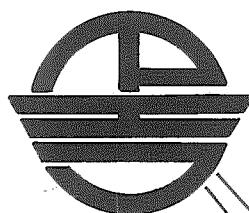
三重県・伊勢市役所庁舎の新しい外観

まちの顔

(役場本庁舎)

ピカピカの新庁舎といいたい…。

増改築されてよそおいも新たに56年度へスタート。



広報あいら

No. 196号 昭和56年3月31日発行

……おもな内容……

- 昭和56年度施政方針 2~3
- 第1回町議会定例会 4
- グラフで見る当初予算 5
- 2期目を迎えた水田利用再編対策 6
- 「暴力追放宣言の町」誕生 7
- 風雨に耐えた30年 8
- 地域づくりは“あなた” 9
- 家族で歩いてみませんか 10
- 教材に空きカン 11
- お知らせ 12

町の人口動態

(3月31日現在) () 内は前月比)

| | | |
|-----|--|---------|
| 世帯数 | 10,703戸 | (+ 10戸) |
| 人 男 | 15,466人 | (- 66人) |
| 人 女 | 17,164人 | (- 57人) |
| 口 計 | 32,630人 | (-123人) |
| 3月の | { 出生 25人 死亡 19人 転入 478人 転出 607人 | |

発行 鹿児島県姶良町
編集 総務課
⑦ 899-54 ⑧ 09956 ⑨ 3111
鹿児島県姶良郡姶良町宮島町25番地

梅木 卓郎

昭和56年度
施政方針



岩根清春町長

四つの基本柱で努力 社会連帯感で町づくり

昭和五十六年第一回町議会定例会が三月十一日から三十日までの会期十九日間で開会されました。

開会にあたり、町政七年目を迎える岩根清春町長は、昭和五十六年度の施政方針と各会計別予算編成方針及び予算概要を発表しました。

その大綱について説明し、町民のみなさまのご理解とご協力を願います。

町民各位と議会議員のご協力をいただきながら、町政担当七年目を迎えた。本年度も急速に進む都市づくりのために、施政の基本目標は「人間愛あふれる豊かな活力のある緑の町づくり」におき、人間愛を基調とする社会連帯感の高揚によって町民の和の向上、平和にして文化的町づくりにつとめる一方、町の経済向上に渾身の努力を行つてまいります。

国の予算においては緊縮財政計画がうちだされ、各種の事業が実質的には圧縮方針であります。

わたしは、低成長期なればこそ物質的には簡素に、精神的にはより豊かさを追求し、限られた財源を最も効率的に運用してまいりたいと思います。

快適で住みよい生活環境は町民の願いでもあります。

道路・通信網・上水道の水源確保

公園整備は児童公園・近隣公園

まちづくり 都市基盤の整備

人口急増という特殊な立地条件により、さけられない財政需要の急増と住民の価値観の多様化にいかに対応していくか、またこれをいかに不偏的なものとして社会的公正を期し秩序ある均衡のとれた財政運営を推進していくことが、大きな課題であり責務でもあります。

市計画基本構想に基づいて、土地区画整理事業や街路事業、公園緑地の整備、都市下水、公共施設の整備改善を年次的に行ない、住宅地の高度利用をはかつてまいります。

施政の重点項目を四つ掲げ住みよい始良町を築いてまいります。

昭和六十五年を目指とする始良都市計画基本構想に基いて、土地区画整理事業や街路事業、公園緑地の整備、都市下水、公共施設の整備改善を年次的に行ない、住宅地の高度利用をはかつてまいります。

とした井戸二井で水量確保に努力いたし、水利権の同意が得られた場合、将来河川表流水による水源確保に切り替えてまいりたい所存です。

特に区画整理事業は地域住民と一体となって、一日でも早く着手に向けて努力してまいりますのでご協力をお願いいたします。

特に区画整理事業は地域住民とす限り積極的に取り組んでまいります。本年も辺地債や道路整備債等を導入し、補助事業とあわせて活用してまいります。

町民の生活道路である里道の整備も原材料等を支給し整備してま

の総合的配置を重点に年次的に整備してまいります。

船津公園の整備も、国・県に強く要望し、早く完成するよう力を注いでまいります。

道路交通の立場から道路標識や信号機の整備も関係機関と連携をとりながら改善してまいります。

地域集団電話も近き将来、全部が普通電話に切り替えられるよう努力してまいります。

広域行政については住民生活整備してまいります。今年も引き続き生活污水等の排水施設の整備を行ってまいります。

公共下水道については、本年度中に基本計画を作成できるよう作業を進めてまいります。

上水道水源確保については、人口急増により近い将来水不足が予想されます。昭和六十五年度を目標年次として河川表流水を水源として事業を進めていますが、水利権の同意が得られず、まことに遺憾に存じているところです。昭和五十七年度から水不足が予想されますので、当分の間地下水を水源とした井戸二井で水量確保に努力いたし、水利権の同意が得られた場合、将来河川表流水による水源確保に切り替えてまいりたい所存です。

社会情勢の変化に伴って凶悪犯粗暴犯、窃盗犯、知能犯等の刑法犯が年毎に増加の傾向にあり、また特に青少年の非行が広がりつつありますので計画的に振興し、施設、設備の充実に力を注いでまいります。

社会情勢の変化に伴って凶悪犯粗暴犯、窃盗犯、知能犯等の刑法犯が年毎に増加の傾向にあり、また特に青少年の非行が広がりつつある中で、このほど「暴力追放宣言の町」を宣言いたしましたので町民総ぐるみでこの運動を展開してまいりたいと存じます。

道路交通の立場から道路標識や信号機の整備も関係機関と連携をとりながら改善してまいります。

地域集団電話も近き将来、全部が普通電話に切り替えられるよう努力してまいります。

広域行政については住民生活整備してまいります。今年も引き続き生活污水等の排水施設の整備を行ってまいります。

公共下水道については、本年度中に基本計画を作成できるよう作業を進めてまいります。

上水道水源確保については、人口急増により近い将来水不足が予想されます。昭和六十五年度を目標年次として河川表流水を水源として事業を進めていますが、水利

権の同意が得られず、まことに遺憾に存じているところです。昭和五十七年度から水不足が予想されますので、当分の間地下水を水源とした井戸二井で水量確保に努力いたし、水利権の同意が得られた場合、将来河川表流水による水源確保に切り替えてまいりたい所存です。

教育文化の向上 ゆたかな心の育つまちづくり

すべての町民が生涯教育を通じて郷土の伝統や風土の中で心身共に健康で豊かな人間性をもつて、強い意志と創造性をもつ教育の振興に力を入れてまいります。

幼児教育では公・私立幼稚園の父兄負担の格差是正の補助金を支出し就園を奨励してまいります。

学校教育では施設や設備の充実に力を注いでまいります。今年は不足教室の解消事業として帖佐・重富中学校に鉄筋校舎の増築を、また帖佐小学校に同じく鉄筋校舎の増改築を実施してまいります。

社会教育では中央公民館・地区公民館の活用を十分に生かし、みんなが学び、みんなが参加する社会教育・社会体育であるよう努力してまいります。子ども会・婦人会・文化協会・P.T.A.・各種グループ等組織の育成、強化をはかりながら文化向上に努めます。

青少年の健全育成については、青少年問題協議会の活動や家庭教育を通じて健全化に努力したいと存じます。地域づくり自治活動事業も昨年に引き続き実施してまいります。

産業経済の振興

産業経済をとりまく情勢は厳しいものがありますが、諸々の問題解決のために縦・横の連携を密にしながら積極的に取り組んでまいります。

一般農政におきましては、農家の自立自興の精神を一段ともり上げ、基幹作目である米作を中心収益性を高めるために整備され

野菜等を組み入れた複合経営をめざし、関係機関団体と連絡を行なってまいります。ながら振興してまいります。

また、昨年に引き続き大幅な転作指示も示され、農家に大きな打撃となりますが、農家のみなさん

の自主的なご協力を願いします。畜産の現状も和牛を除き、すべての畜産について生産調整が実施され苦しい状況にありますが、農家の経営指導の強化、各振興会の育成等を推進し、農家の意欲を高めてまいりたいと存じます。

今年度も高齢者の生きがい対策としての生産牛購入資金の貸付と優良生産素牛の保留補助制度を実施してまいります。

十一年の歳月を経て継続実施してまいりました県営ほ場整備事業も換地処分の登記事務を残し、昭和五十五年度をもって完成しました。今後は県単事業等を導入し、農道の舗装、改良等を実施してまいります。

三船地区に集落環境整備事業で三叉コミュニティセンターを設置いたしましたので、農村の中核モデル地域として機能を十分發揮し、新生活運動に役立ててまいりました。今後は商店街の核となる店舗開発を具体的に検討してまいります。

農業に対して認識を深めるため

に今年度も農業祭を実施してまいります。

農業に対して認識を深めるため

に今年度も農業祭を実施してまいります。

林道を開設することが重要な課題でありますので、補助事業を導入し、林道の新設改良等に努力してまいります。

たけのこ生産園地の育成、流通体系の整備、若齢林の保育事業等森林組合と連携をとりながら林業

所得の向上に努めてまいります。

昨年に引き続き「県民の森」造成事業が本町を中心て実施され、森林のもう多角的な公的機能を十分に生かし、保健・休養の場及び青少年等の野外活動の拠点となる事業推進に全面的に協力してまいります。

また、昭和五十九年度全国植樹祭が本県で内定しておりますので、緑のまちづくりには最善の努力を行ってまいります。

今年度も高齢者の生きがい対策としての生産牛購入資金の貸付と優良生産素牛の保留補助制度を実施してまいります。

十一年の歳月を経て継続実施してまいりました県営ほ場整備事業も換地処分の登記事務を残し、昭和五十五年度をもって完成しました。今後は県単事業等を導入し、農道の舗装、改良等を実施してまいります。

三叉コミュニティセンターを設置いたしましたので、農村の中核モデル地域として機能を十分發揮し、新生活運動に役立ててまいりました。今後は商店街の核となる店舗開発を具体的に検討してまいります。

農業に対して認識を深めるため

に今年度も農業祭を実施してまいります。

農業に対して認識を深めるため

に今年度も農業祭を実施してまいります。

農業に対して認識を深めるため

に今年度も農業祭を実施してまいります。

農業に対して認識を深めるため

に今年度も農業祭を実施してまいります。

農業に対して認識を深めるため

と栽培漁業の推進と併せて漁族の繁殖に努めてまいります。観光につきましては家族で楽しむハイキングができる遊歩道の整備や町内観光史跡等の清掃に力を注いでまいります。

母子・父子家庭等に対する医療費の助成、社会福祉法人立保育所設置費償還金の一部助成、老人福祉電話、障害者だけのスポーツ大会、障害者用のトイレ設置、障害者の実態調査等を推進してまいります。

また、町立重富保育所の改築工事も県の認可が下り次第推進してまいります。

従来の金品や物品等の経済的福祉から「眞の思いやり」「ぬくもりの心」という心の福祉に変わってきている中で、行政の力だけではなくどうすることのできない問題等が多く山積しております。

これから福はボランティアであり、地域住民はもとより、各種企業・福祉団体・行政等それぞれの責任分野において一丸となって福祉を進めてまいります。

まちづくり、社会福祉の充実しあわせのあるまちづくり

従来の金品や物品等の経済的福祉から「眞の思いやり」「ぬくもりの心」という心の福祉に変わってきている中で、行政の力だけではなくどうすることのできない問題等が多く山積しております。

これから福はボランティアであり、地域住民はもとより、各種企業・福祉団体・行政等それぞれの責任分野において一丸となって福祉を進めてまいります。

まちづくり、社会福祉の充実しあわせのあるまちづくり

従来の金品や物品等の経済的福祉から「眞の思いやり」「ぬくもりの心」という心の福祉に変わってきている中で、行政の力だけではなくどうすることのできない問題等が多く山積しております。

これから福はボランティアであり、地域住民はもとより、各種企業・福祉団体・行政等それぞれの責任分野において一丸となって福祉を進めてまいります。

まちづくり、社会福祉の充実しあわせのあるまちづくり

従来の金品や物品等の経済的福祉から「眞の思いやり」「ぬくもりの心」という心の福祉に変わってきている中で、行政の力だけではなくどうすることのできない問題等が多く山積しております。

これから福はボランティアであり、地域住民はもとより、各種企業・福祉団体・行政等それぞれの責任分野において一丸となって福祉を進めてまいります。

まちづくり、社会福祉の充実しあわせのあるまちづくり

従来の金品や物品等の経済的福祉から「眞の思いやり」「ぬくもりの心」という心の福祉に変わってきている中で、行政の力だけではなくどうすることのできない問題等が多く山積しております。

まちづくり、社会福祉の充実しあわせのあるまちづくり

従来の金品や物品等の経済的福祉から「眞の思いやり」「ぬくもりの心」という心の福祉に変わってきている中で、行政の力だけではなくどうすることのできない問題等が多く山積しております。

姶良町民憲章

私たちちは、姶良町民であることに誇りをもちみんなで住みよい文化の町をつくるために、すんで次のことを行ないます。

一、私たちちはきまりを守り明るい町をつくります。

一、私たちちは気をくばり健康な町をつくります。

一、私たちちはよく働き豊かな町をつくります。

一、私たちちは子どもを守り教育の町をつくります。

46億

さあ~まちづくり!! 土木・教育費を重点に

5,400万円

主な事業と予算

土木費では、道路新設改良費と水路費一億一千六百二十万円、都市下園費二千七百二万円、住宅建設費三億九千八十万円等が計上されています。

教育費では、小学校費の建設費として一億四千三十万円、中学校費の建設費として一億九千六百七十四万円等です。

総務費では、財産管理費一億一

昨日の一般会計当初予算額より12.4パーセントも伸びた46億5,400万円が、昭和56年度一般会計当初予算として計上されました。

また、特別会計の各当初予算額22億6,686万円を加えますと、昭和56年度当初予算総額は69億2,086万円となります。この“でつかい予算”が昭和56年第1回町議会定例会で可決されました。

私たちの町をより一層豊かに、住みよくするための予算です。次ページの表を参考にしながら主な事業をごらんください。

千八百一千万円、財政調整基金費三千八百一千万円、賦課徴収費二千三百五十一万円等が主なものです。
民生費では、老人福祉費二億六千五百四十九万円、社会福祉施設費一千二百五十五万円、児童措置費五千三百十八万円、児童福祉施設費一億九千三百二十三万円等が計上されています。

公債費では、町の借入金である償還金の元金と利子等で五億一千六百七十一万円が、返済されるのです。

農林水産業費では、農業振興費一千六百三十七万円、農業施設費一千五百八十四万円、畜産業費一千三十三万円、農地費の負担金補助及び交付金として一千三百五十三万円、造林事業費に一千百四万円、治山林道費五千六百四十二万円、入会林野等高度利用促進特別対策事業費二千十五万円、林業構造改善事業費四千五十万円等です。

衛生費では、予防費一千六百六十八万円、環境衛生費一千四十一万円、塵芥処理費七千五百五十一万円、し尿処理費二千五百四十八万円等が主なものです。

労働費では、一般失業対策事業費一億一千百十四万円等が計上されています。

消防費では、常備消防費一億二千二百二十三万円、消防施設費一千六百三十四万円等です。

災害復旧費では、触田川ほか五

六件の工事費を含む過年災害復旧費一億三千十七万円が主なもので

畜産振興の枠拡大さる

国保税率の一部改正も

今回の定例町議会は、昭和五十六年度の町の方向を決める当初予算審議をはじめとする二十四件の議案が提案され慎重審議されました。

可決された主なものは次のとあります。

三叉コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例制定、

新農業構造改善事業による集落環境整備事業として三船地区に建設された、コミュニティセンターの使用許可・制限・義務等を条例化したものです。

町内居住者の施設使用料は、灌漑室を除き、他の施設は無料です。

洗濯室は一回につき三百円です。

心身障害者対策協議会条例制定

今年は、国際障害者年でもあり障害者に関する施策を積極的に取り組むために、協議会を設置し検討を重ねていくものです。

畜産振興資金利子補給条例の一
部改正

改正前の畜産振興資金利子補給の対象事業が町集団養鶏計画に基づく採卵養鶏事業、乳牛、生産和牛導入事業に限られていきましたが今回の改正により肉牛の導入事業まで枠が広げられたものです。

肉牛の頭増頭運動を農協と一緒に実施し、畜産の振興を図っていくものです。

国民健康保険税条例の一部改正

医療の増加にともない、毎年療

養給付費等が増加し、国保会計が圧迫され赤字になりますので、昭和五十年六月以降六年間適用してきた被保険者均等割額五千円を八千円に、世帯別平等割額七千円を九千円に税率を昭和五十六年四月一日から引き上げ、健全な国民健康保険制度の確立をはかるものです。

昭和五十五年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一千五百五十九万円を追加し、予算総額四十八億百三十九万円となりました。

今回補正された主なものを述べますと、歳入では地方交付税が五千三百萬円、電気税が一千五百万円補正されました。

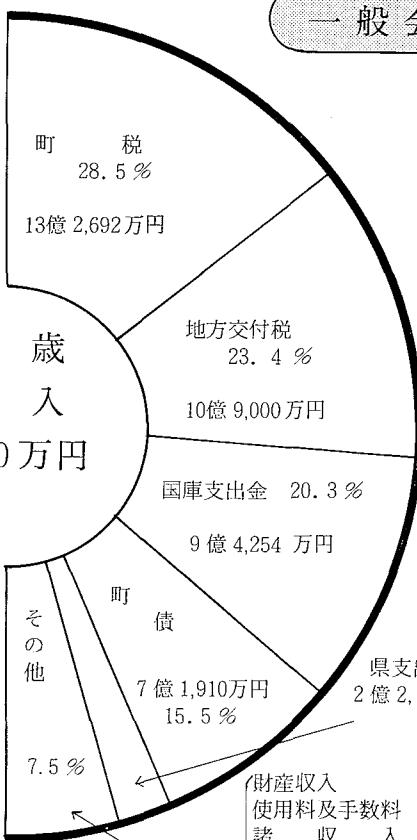
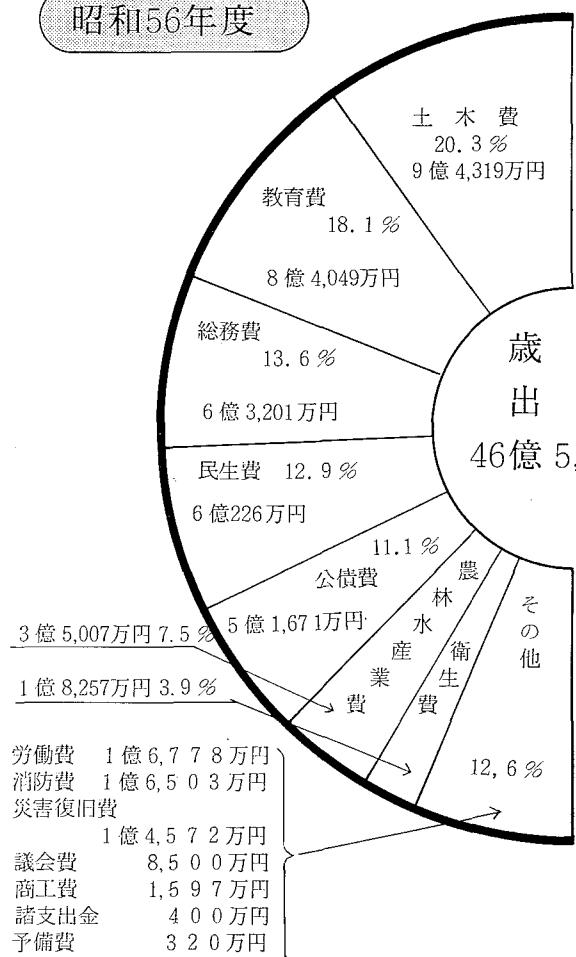
歳出においては、諸支出金として六千九百十二万円、総務費の住宅建設費が八百一万円、老人医療扶助費を含む、老人福祉費が五百三十三万円等が主なもので

す。

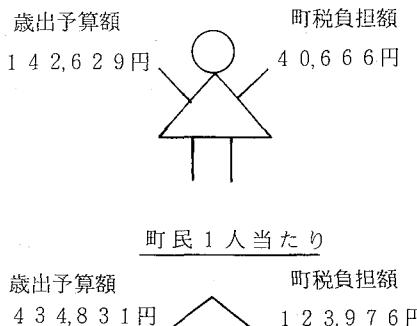
グラフで見る当初予算

昭和56年度

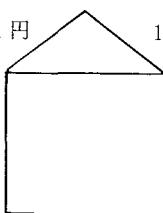
一般会計



町税負担額と歳出予算額

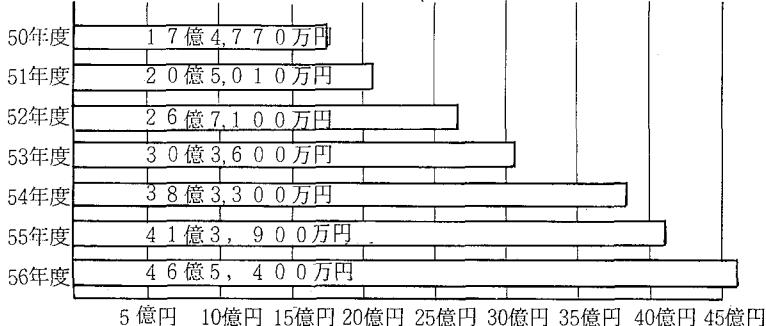


町民1人当たり



1世帯当たり

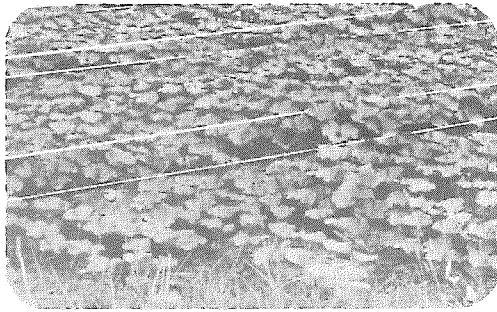
当初予算額推移



5億円 10億円 15億円 20億円 25億円 30億円 35億円 40億円 45億円

昭和56年度各会計当初予算額

| | |
|--------|------------|
| 一般会計 | 46億5,400万円 |
| 国保事業勘定 | 13億782万円 |
| 国保施設勘定 | 2,891万円 |
| 水道事業会計 | 9億3,013万円 |



転作は集団化で

昭和五十六年度から向う三ヵ年間、昭和五十八年度まで「米の生産調整」の第二期目の対策がとられます。今回大きな特徴は、米に代る転作作目が長期的、安定的に定着することに制度を改正して集団転作を進めようとしていることです。また、従来の集団化されないバラ転のものは減額するという厳しい内容であります。

本町の昭和五十六年度の目標転作面積は一五六ヘクタールであり、

協力ください。

昭和五十六年度から向う三ヵ年間、昭和五十八年度まで「米の生産調整」の第二期目の対策がとられます。今回大きな特徴は、米に代る転作作目が長期的、安定的に定着することに制度を改正して集団転作を進めようとしているこ

とです。昨年十一月に発表された、第一期の対策内容は大部強化され、目標面積の増加と奨励補助金制度も厳しい状況になっています。

2期対策 水田利用再編

水田利用再編対策である「米の生産調整」は昭和五十六年度から第一期目を迎えようとしています。

第一期の三年間は、農家のみなさんのご協力で二四六ヘクタールの転作目標面積に対し一二三パーセントの三〇五ヘクタールが達成できました。

耕作面積の一五パーセント（一割五分）にある面積が配分されています。この面積を達成するには、農家ののみなさまのご協力をお願いし、所得の向上に努めなければなりません。転作奨励金は、基本額・計画（集団）加算は現行より減額され、団地化加算が新しく設けられています。

一〇アール（一反歩）当たり、特定作物・永年性作物で基本額四万七千円、計画加算額一万円、団地化加算額一円になり、一般作物などはそれぞれ三万二千円、七千五百円にし、計画加算、団地化

重小・姶良小屋体完成

大蔵省運用部（年金）

及び簡保資金などで

重富小学校・姶良小学校屋内体育館・公営住宅・三叉コミュニティセンター・北山木場地区飲料水供給施設が昭和五十五年度事業として完成しました。

地域の発展を先行するこれらの公共建設は年次的に建設されています。

このような公共建設事業の建設財源は国庫補助金や、大蔵省の運用部（年金）資金及び簡保資金を大きな財源として活用されているのです。



工期 昭和55年9月1日～
昭和56年3月20日
面積 1.036平方メートル
総建築費 1億4,266万円
国庫補助金 3,414万円
起債額 4,880万円
内容 体育教官室、用具室、ステージ及び控室、観覧席、体育室、放送施設

姶良小学校屋内体育館



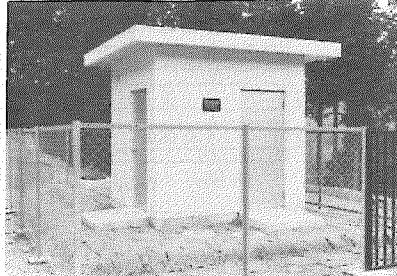
工期 昭和55年9月1日～
昭和56年3月20日
面積 1.036平方メートル
総建築費 1億5,064万円
国庫補助金 4,437万円
起債額 4,500万円
内容 体育教官室、用具室、ステージ及び控室、観覧席、体育室、格納施設、放送施設

公営住宅（簡保）



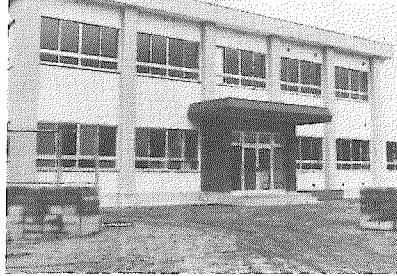
工期 昭和55年9月1日～
昭和56年3月20日
面積 2174.12平方メートル
総事業費 2億4,354万円
国庫補助金 1億6,343万円
起債額 6,940万円
内容 中層耐火構造四階建
第二種公営住宅 16戸

北山木場地区飲料水供給施設（年金）



工期 昭和55年8月22日～
昭和56年2月28日
総延長 4.130メートル
総事業費 3,055万円
国庫補助金 1,200万円
起債額 1,830万円
内容 配水池、取水池、導水管
配水管、給水管

三叉コミュニティセンター



工期 昭和55年9月18日～
昭和56年3月20日
面積 506平方メートル
総事業費 6,016万円
国庫補助金 2,845万円
起債額 2,050万円
内容 研修室、調理実習室、洗濯室、健康増進室

「暴力追放宣言の町」誕生

町民総ぐるみで未然防止に努力

「犯罪と暴力のない明るい町づくり」を目指し、一月二十四日町

中央公民館で町内三つの各種機関

団体四八五人が集まり、推進大会

が行われ「始良町暴力追放宣言の

町」が誕生しました。

県下でも数少ない「暴力追放宣

言の町」として、暴力を未然に防

ごうとするものです。

本町は年毎に人口の急増が激し

い町であり、都市化が進むにつれ

青少年の非行、犯罪の発生等が増

加している状況であります。

また、社会情勢の進展によつて

暴力団が進出を狙っています、幸

い組織的な暴力団の存在はありま

せんが、社会環境の悪化が進むに

つれ進出の可能性は十分に予想さ

れるのです。

決議文

各戸に配布された決議文

昭和五十六年一月二十四日
鹿児島県始良町
始良町暴力追放宣言推進協議会

暴力団組織が町に進入してからでは手おくれとなります。

青少年の非行防止とあわせて暴

力団の進出を未然に防止する必

要があるのではないかでしょうか。

推進大会では、昨年の十一月定

例町議会で提案可決された経過を

西野繁務課長が報告し、春山義

治氏（桜山下）が議長となり「始

良町暴力追放宣言の町」宣言並び

に決議文の採択や今後の推進方法

等が論議されました。

大会の中で岩根町長は「青少年

の非行・暴力は親子のコミュニケーションの場が少なくなった結果

であり、「うちの子に限つて……」

と罪を犯して捕導されてから嘆き悲しむ家庭が多いことを訴え、小

さなさいな暴力から世間を騒か

す大きな暴力まで、町から追放し

明るく住みよい町づくりに努め

よう」とあいさつしました。

最後に明るい町づくりを目指す

決議文が桜山（男氏）（山野）の朗

読に合わせ、参加者全員で力強く

決議されました。

次代を担う青少年が元気で明る

くすくすと伸び、健全に育つこ

とが人づくりの根本であり、町民

全ての願いであります。

青少年の心をむしむ非行の芽

を町民みずから協力と実践で、

良識と勇気をもって摘みとりまし

ることをしていて非行化につながる

よう。

右 決議する



力強く決議文を朗読する桜山さん

増え続ける少年非行 こどもの“心の病”を適切に

こどものに対する

無関心、放任、話

し合いの欠如等が

親子間の断絶を生

み、子どもの不平

不満を高め非行に

走るケースが多く

見られます。

非行という“心

の病”にも潜伏期

間があります。早

目に手当てをする

ためには、ふだん

の“健康状態”に

注意して変調を一

日も早く察知する

ことがまず第一で

す。

非行化への“潜

伏期間”に見られ

る典型的な症状の

一つとして「ウソ」

があります。

ウソをついてはいけないと知り

つつも、時にはウソをついてしま

うのが人間です。そこで、何のた

めについているのか、ウソの背景

となります。

ついてもかまわないウソ、聞い

ている方がウソだと心得ていれば

害のないウソ、かくじごとや悪い

ことをしていて非行化につながる

ウソ……いろいろなウソのパートナーがあります。

非行の年齢は、反抗期とも密接

に関連します。「自分がウソをつきました」というよりも「さつき自分じゃないといったのはウソでした」という方がいいにくく、勇

気のいるものです。

ウソの“追及”が逃げ場のない

厳しい追及や非難では、せっかく

見つけた非行化のきざしも、摘み

とるどころか逆に大きくなってしま

うことになります。ウソを生んでいくのです。

常日頃、子どもの“心の健康状

態”をよく知つて「ウソは悪いこと」と頭から決めつけずに、その

原因をよく理解してから処置する

ことが家庭での親のポイントです。

増え続ける少年非行を他人ごと

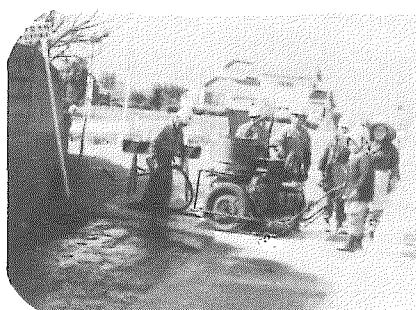
と考えずに、今一度自分の家庭を

振り返つて反省してみましょう。

広報からのお知らせ

△係では、よい広報紙を作るために、みなさんがご意見ご要望をお待ちしています。

△自分の知っていることで、町民に知らせたいことなどありますたら、お知らせください。



舗装改良に精出す就労者たち

風雨に耐えた30年 喜ばれた道路舗装

連日建設現場で汗を流し、ただ一筋に町の発展のために力を注ぐ失業対策事業が三十周年を迎えた。

した。

二月二十五日老人福祉センターで就労者五六人が参加して記念式典が盛大に行われました。

式典では、村岡創造建設課長の経過報告が行われ、失業対策事業が町の発展に大いに貢献していることを報告しました。

岩根清春町長の式辞の後、就労者一人ひとりに激励の言葉を掛けながら感謝状が手渡され、永い年月の苦労をふり返り、おもわず涙

式典が終ると来賓をまじえての祝賀会も催され、永年の勞をいやしていました。失業対策事業は、終戦を境に衣・食・住に不自由を感じる世相の時代に加え、就職に混迷を来たしていた失業者たちを国が昭和二十四年緊急失業対策法を制定して、失業対策事業として、スタートしたのです。

昭和二十六年重富地区で、また昭和二十七年に帖佐・山田地区で失業対策事業が実施されました。

その後、昭和三十年、三カ町村

が合併を行ない、姶良町が誕生してから全町にわたり事業推進がなされました。発足当時は就労状況も悪く、町民の不評を浴びていましたが、年々に就労秩序も維持され「町民に直結した・喜ばれる・愛される」失業対策事業へと作業内容も変ってきたのです。

昭和四十年度から舗装工事も導入され、その成果は広く町民に喜ばれました。

ぐんでいる人の姿も見つけられました。多数の来賓のお祝いの言葉を受けて、就労者を代表して神宮司安之丞さんが「これからも微力ながら、就労者全員が力を合わせて町の発展のために頑張ります」と力強く謝辞を述べられたと、会場はわんぱくかりの拍手につつまれました。

式典が終ると来賓をまじえての祝賀会も催され、永年の勞をいやしていました。失業対策事業は、終戦を境に衣・食・住に不自由を感じる世相の時代に加え、就職に混迷を来たしていた失業者たちを国が昭和二十四年緊急失業対策法を制定して、失業対策事業として、スタートしたのです。



感謝状を前に

自分で考え行動する、人に頼らず自分の力でやりぬく……。自主性とは、このような心理的特性をいいますが、子どもの場合は親子関係・家庭環境に左右されることが多いようです。

子どもに自主性を持たせるためには、とやかく干渉しないことがまず第一で、思い通りにさせてやることが大切です。

子どもが自分で何かをしようとすると、お膳立てをしてやつたりまた逆に「いけません」とか「あとにしなさい」といつて、親の一方的な指示に従わせようとすることがあります。

これでは、子どもが自主的に何かをした、自分の考え方で行つたという経験が持てず、自主性は育ちません。

子どもも自分で物事を考え、自分の行動と責任で行うように心掛けましょう。



成功感を味わわせよう

見ていて、じれったいことが

あっても、口や手を出さず、自分一人で成しとげたという成功感を味わせるようにしたいものです。

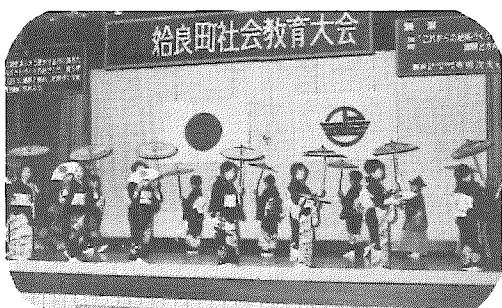
大切なことは、子どもがぐじけそうになったときは励げましてやることと、成功したときにほめあげ、喜びをともにすることです。

自主性は子ども自身の、何かをしてみようという「やる気」から生じますが、「やる気」を自主性にまで育していくには、親の激励や助言などが必要です。

その意味では、子どもの自主性は、親がつくり育てるものであるといえるでしょう。

親の激励や助言などが必要です。そのためには、親がつくり育てるものであるといえるでしょう。

子どもが自分で物事を考え、自分の行動と責任で行うように心掛けましょう。



下名孢瘡踊りも特別参加

表彰伝達の部

| 番号 | 種類 | 個別 | 名前 | 表彰内容 |
|----|--------------|----|--------------------|--------------|
| 1 | 県新生活活動推進協議会 | ○ | 生 活 学 校 | 地域づくり実践活動 |
| 2 | 県民運動推進協議会 | ○ | 北 山 小 学 校 | 南日本花壇コンクール入賞 |
| 3 | 姶良地区体育指導員会 | ○ | 小川内 益 男 (木津志) | 社会体育に尽す |
| 4 | " " | ○ | 庄 村 義 夫 (宇都) | " |
| 5 | " " | ○ | 坂 上 多 計 二 (上水流) | " |
| 6 | 県子ども会育成連絡協議会 | ○ | 飯 田 徳 二 (俵原団地) | 子ども会健全育成に尽す |

社会教育大会表彰の部

| | | | | |
|---|----------|---|------------------|--------------|
| 1 | 婦人会関係 | ○ | 建昌校区婦人会 | 地域づくりに尽す |
| 2 | 社会体育関係 | ○ | ソフトボール協会 | 地域体育振興に尽す |
| 3 | 子ども会関係 | ○ | 重富団地子ども会 | 子ども会の充実発展に尽す |
| 4 | 社会教育活動関係 | ○ | 沖 かみお (錦原団地) | 地域づくり実践活動に尽す |
| 5 | 子ども会関係 | ○ | 池ノ上 明 雄 (西之妻) | 子ども会の健全育成に尽す |
| 6 | 社会体育関係 | ○ | 米 重 三千生 (船津下) | 地域体育振興に尽す |

節約・簡素化一実践活動

婦人の声を大切に

案し合い、研究課題として学習を重ねる大会でした。今年は、公民館社会教育活動の中央幼稚学級生も初参加し、若い人団体大会が盛大に行われました。地域のものもろの悩みや古い習慣、婦人としての組織活動のあり方など数多く問題点をお互い提

地域づくりは“あなた”

公民館活動の一年間のしめくくりとして、二月十七日町中央公民館で社会教育大会が行われました。自から学び互いに連帯を強め、地域づくりに努めようとするものです。

豊かで真に生きがいのある地域づくりと人間関係の仲間づくりとして、あらゆる年齢階層を通じお互いの連帯感を高め、明るい町づくりを実現しようとするものです。

大会は姶良町民であることに誇りをもち、みんなで住みよい文化の町をつくる町民憲章の朗読に

岩根町長は「町の発展は人

間愛であり、社会教育の底辺拡大が必要であります。地域で立派な

人格者であると同時に良きリーダーとして成長してほしい」と激励しました。

生活様式が変化すると人間関係も複雑化して、価値感の多様化が

もうもうの好ましくない現象をひきおこし、地域づくりの課題とな

ります。

これらの「地域づくりの課題と

方向」と題して寺師次夫先生(こ

まつばら幼稚園副園長)の講演が

あり、「地域のみんなで健全な青

少年の育成を行なうことであり、

家庭教育の大切さ」を訴えておら

あいさつを交わそう
立派な人格者－良きリーダー

間愛であり、社会教育の底辺拡大が必要であります。地域で立派な

人格者であると同時に良きリーダーとして成長してほしい」と激励しました。

生活様式が変化すると人間関係も複雑化して、価値感の多様化が

もうもうの好ましくない現象をひきおこし、地域づくりの課題とな

ります。

これらの「地域づくりの課題と

方向」と題して寺師次夫先生(こ

まつばら幼稚園副園長)の講演が

あり、「地域のみんなで健全な青

少年の育成を行なうことであり、

家庭教育の大切さ」を訴えておら

ります。

「勤労意欲の欠乏・おもいやり

の心の乏しさ・自己中心的な考え

方・感謝の心の乏しさ・地域に奉

仕する誠の心の欠乏」などを集團

社会生活で会得することが地域づ

くりの実践活動につながるのでは

ないでしょうか。

明るく住みよい文化の町をつくり

世の中の発展と歴史を築いていく

のは「あなた」です。

この大会で社会教育に貢献され

た個人や団体が表彰されました。

表彰された個人や団体は次のと

おりです。

婦人たちに喜ばれました。

この大会も四回目を迎える毎年

内容も充実されて活発な意見が

述べられました。

地域活動で「〇〇しましよう、

△△を合理化しましよう」など、

かけ声だけに終らず学習活動が地

域で実際浸透し、古い慣習を破り

喜ばれている状況等を意見交換し

会場に集った婦人たちの勇気をふ

るいたたせていました。

大会の中心テーマは「虚礼廃止

運動」「消費者問題」「青少年健

全育成」であり、個人一人では実

践していくことであるが、婦人団

体が連携し実行すれば徹底した地

域づくりが実現するのです。

婦人として、また、主婦の立場

で、日常の生活環境をながめてみ

てください。「節約できるもの」

「簡素化できるもの」など身の回

りにたくさん目に付くことによ

う。

かしこい婦人であり、主婦の地

位向上につとめたものです。

「親の姿を見て子は育つ」のごとく

家庭の中心をなす婦人がお互いに

手をとりあって、明るい地域社会

づくりや青少年の健全育成に力を

注いでいくことを決議しいまし



意見交換も活発に

節約・簡素化一実践活動

婦人の声を大切に

主婦として何をなすべきか地域での役割は……。

婦人として、また、主婦として何をなすべきか地域での役割は……。

は……。

一月二十二日町中

央公民館大ホールに

町内の各種婦人団体

が一堂に集まり、婦

人団体大会が盛大に

行われました。

地域のものもろの

悩みや古い習慣、婦

人としての組織活動

のあり方など数多く

の問題点をお互い提

出しました。

かしこい婦人であり、主婦の地

位向上につとめたものです。

「親の姿を見て子は育つ」のごとく

家庭の中心をなす婦人がお互いに

手をとりあって、明るい地域社会

づくりや青少年の健全育成に力を

注いでいくことを決議しいまし

た。

案し合い、研究課題として学習を重ねる大会でした。今年は、公民館社会教育活動の中央幼稚学級生も初参加し、若い人団体大会が盛大に行われました。地域のものもろの

悩みや古い習慣、婦

人としての組織活動

のあり方など数多く

の問題点をお互い提

出しました。

かしこい婦人であり、主婦の地

位向上につとめたものです。

「親の姿を見て子は育つ」のごとく

家庭の中心をなす婦人がお互いに

手をとりあって、明るい地域社会

づくりや青少年の健全育成に力を

注いでいくことを決議しいまし

た。

特集

家族で歩いてみませんか
町内の優れた文化遺跡

平安城・八幡神社

平山了清が植えたと伝えられる樹齢700年ものの大銀杏がある。



稻荷神社

島津義弘公が築造した神社、境内には島津忠重書による維新公邸跡記念碑、大山巖書の日清日露戦役記念碑、伊藤祐享書の全戦役従軍碑等がある。



天福寺跡

岩像（首像18体、他小像数体）あり、一列に東西に並列している、大きな洞窟がある。



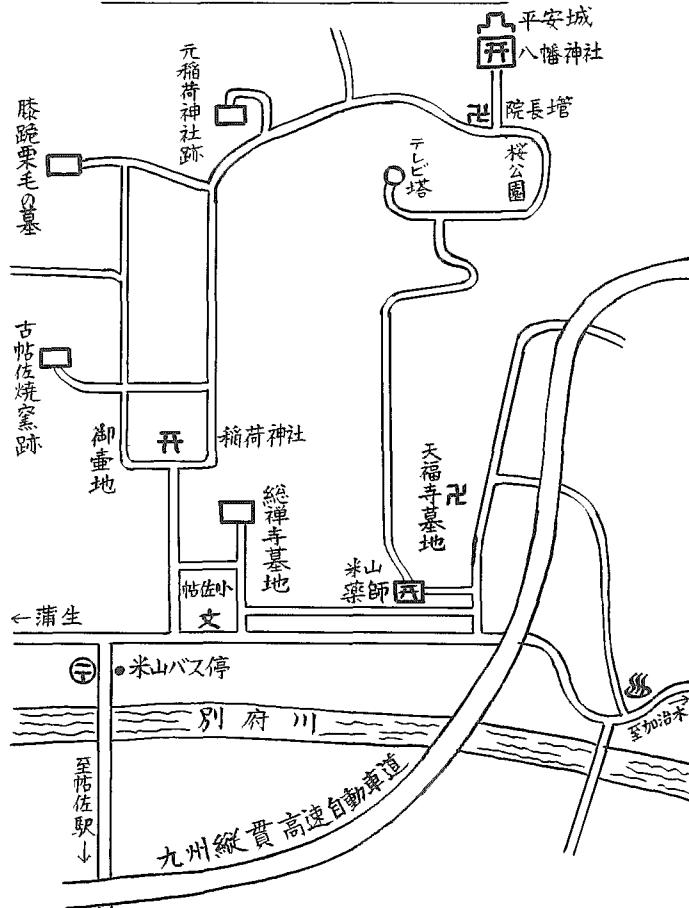
桜公園

八幡神社の真向いにある台地、桜島をのぞむ絶景の地、桜の満開時は花見客で賑わう。テレビ中継塔もある。

見どころ

総禪寺、稻荷神社、古帖佐焼窯跡、膝跪栗毛の墓、元稻荷神社跡、八幡神社、桜公園、テレビ中継塔、米山薬師、天福寺跡

平安城・米山薬師コース



みなさんが現在住んでおられる姶良田は、昔どんな場所だったのでしょうか……。また、どんな人達が生活していたのでしょうか……。
家族でハイキングを楽しみながら、過去の歴史で生まれてきた貴重な郷土の文化財をたずねてみませんか。
先人の残した遺徳と業績を忍び郷土を知るために今から七回にわたり観光ハイキングコースをお知らせします。
第一回は米山（帖佐校区）を中心とする「平安城・米山薬師コース」を紹介します。



『通り魔汚染』

“通り魔汚染”

空き缶公害を考える

たまの休みに、家族そろつて近くの行楽地へ、さて弁当を広げようと思つても

空き缶や紙くずが散乱している、なかなか適当な場所が見つからぬ……せつ

かくのピクニック気分に水をされたと

いう経験は、どなたも一度や二度はあることでしょう。

散乱場所について調査さ

地元の人には 降つてわいた環境汚染

一般道路といえば、その近くに住む人たちにとって日常生活の

場”そのものです。ドライバーの

カバンポイ”という行為も、そこで日々の暮らしを送る人たちにしてみれば、生活の環境汚染に外なりません。いわば”通り魔汚染”と

でもいいましょうか……。

また、ハイキング・登山道は、

| | |
|-----------------|-----|
| 「一般道路とその周辺」 | 34% |
| 「市街地の広場と公園」 | 10% |
| 「海岸や湖沼の岸辺」 | 8% |
| 「大きな川の川原」 | 8% |
| 「海水浴場」 | 8% |
| 「最も多い一般道路とその周辺」 | 8% |

この事実は、ドライバーや観光客が通りすがりに投げ捨てる空きカンがいかに多いか、旅の恥はかきすて……といった心境があります。

どんな理由からでしょうか。

「近くにゴミ箱がなかったから」が最も多く、全体の約四割を示しています。

主な理由を述べますと、「自動車に乗っていて始末に困ったから」「ゴミ箱のあるところや家にまで持つて行くのが面倒だったから」「ゴミ箱などがいっぱいだったら」「みんなが捨てていたから」などがあげられます。

どうやら本当の”ポイ捨て”的理由は「ちょっとした気の緩み”とは言えないでしょか。

一人ひとりが、心をくばって空き缶公害をなくしたいのです。

四季折々にみんなが自然を楽しむ



ぼくのはきれいだよ！

教材に空きカン

北山小学校内美化運動

あなたの家で”空きカン”はどうしてありますか。

先生たちの「ゆとりの時間」を活用し、肌で感じる教育を目指します。

「カンズメ花壇」を実現している

学校美化に励んでいます。この学校は北山小学校で、先生・生徒

地域住民が一丸となって校内美化運動に取り組んでいるのです。

学校給食に使われた空きカンの山目に付けて、教材として使われないものかと検討を重ね、空きカンに色を塗り花鉢として利用することになりました。

花が植えられた”カンズメ鉢”

は肥料や腐食土で二年から三年たつとボロボロになり、空きカンの処分にも役立っています。

省資源・省エネの面からこの

校内美化運動は、地域住民から非常に喜ばれ、四季折々の花で地域の人達の目を楽しませてくれます。

あなたも身近にある”空きカン”

を危険物として捨てる前に家族で

今度話し合い花園を作つてみま

せんか。

を利用して花園を作つてみません

新入学児童をお持ちの家庭では、期待に胸をふくらませながら

子どもさんの成長を願つておられる方であります。入学されるお子さんには、必ずお忘れのことじよ。この一つに、交通ルールのしつけがあります。

今まで、比較的の近所で遊んでいた子どもたちも、学校に通うようになると、その行き届きをはじめ、新しい友だちができるなどして行動範囲はだいぶ広がっていきます。ここで気をつけなければならないのが、交通事故です。毎年、この時期は、新入学児童の交通事故が目立ちます。正しい交通ルールをいま一度親子でよく話し合いましょう。

「飛び出し」による事故が約七割



新入学児童の交通安全

交通ルールを親子で語ろう

登校前はゆとりをもつて

「飛び出し」です。

また、低学年ほど危険度が高く、高学年の四倍にもなっています。子どものいる家庭では、ふだんから交通ルールをよく教えると送り出すときは、次の点に十分気をつけましょう。



◎出かけるときにしからない。◎忘れるのをさせない。

◎通学時間にゆとりをもたせる。

子どもは、しかられるとそのことで頭がいっぱいになり、周囲の状況が目に入らなくなります。

また、時間にゆとりがなかったり、忘れものをして途中から引き返したりすると、非常にあわてる

ため注意力が散漫になり、事故の多くになりますから注意しましょう。

一方、車を運転されるかたは、こうした子どもの行動特性を十分理解して、子どもを見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払いましょう。

知っていますか～1日1円保険

家族ぐるみで加入を

「交通安全」はわたくしたちみんなの願いです。
緊迫化する交通戦争で、尊い人命が奪われたりまた多くの重軽傷者が出ています。
不幸にして災害を受けた人に見舞金を送り、お互いに助けあう制度が「交通災害共済（一日一円保険）」です。
不幸にして毎年加入されておられないかたが事故に多くあわれておられます。

本町の五十四年度加入率は四八パーセントで、毎年少しづつは増えていますが、まだ制度を知らないかたが多いようです。
また、この制度は自損事故にも適用されます。万一に備えて見舞金のもらえる一日一円（年三百六十円）保険にお年寄りから子どもまで家族ぐるみで加入しましよう。

篠志寄付

一金 百万円

故森兼道氏（森）の遺志に

より、家族のかたから青少年育成資金として寄付がありました。

故人の遺志を尊重し、始良町育英資金基金として広く活用してまいります。

横山中屋敷村雲屋口山小西三塩橋中山中佐佐木大岩白木木佐佐貫貫迫崎西口敷村雲屋口山

政信芳正正康文義時清文末紘直弘敏晴喜雄秋憲明男美禮清英春三豊輝春卓勉仁

子どもの交通事故で一番多いのは、いわゆる「飛び出し」です。幼児と小学生の交通事故のうち六六パーセント、つまり全体の七割近くが路地から大通りなどへの

29人合格 技能検定試験

鹿児島県職業能力開発協会が毎年実施している、技能検定試験に始良町から29人が国家試験に合格し、合格証書が交付されました。合格されたかたがたは下表のとおりです。

| 二 級 | 一 級 | 職 種 | 氏 名 |
|-----------------------------|-------------------------------|--|---|
| ガラス施工 義肢製作（義肢装具製作） | 造園 農業機械整備 配管 | 板金（建築板金作業） 塗装（金属塗装作業） 防水施工（合成ゴム系シート） 建築機械整備 ブロック建築 | 左官（建具製作作業） 木工（かせ糸漫染作業） タイル張り サッシ施工 |
| ノ | ノ | ノ | ノ |
| 長宮二樋藤福内延宮松高園下永浜川方並木島畠原浦木田蘭田 | 坂中白木木佐佐貫貫迫崎西口敷村雲屋口山 | 横山中屋敷村雲屋口山小西三塩橋中山中佐佐貫貫迫崎西口敷村雲屋口山 | 政信芳正正康文義時清文末紘直弘敏晴喜雄秋憲明男美禮清英春三豊輝春卓勉仁 |
| 純敏義浩良清春国健秋重仁勉卓春輝豊三英春美清二男人 | 絃末清文時義富康文正正芳信政一春澄夫雄秋憲明男美禮晴敏弘直 | 横山中屋敷村雲屋口山小西三塩橋中山中佐佐貫貫迫崎西口敷村雲屋口山 | 政信芳正正康文義時清文末紘直弘敏晴喜雄秋憲明男美禮清英春三豊輝春卓勉仁 |